

議会だより発行準備特別委員会会議録

(令和6年7月10日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会だより発行準備特別委員会会議録

本日の会議 令和6年7月10日(水)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	金 繁 典 子	副委員長	少 林 法 子
委員	尾 崎 恵 一	委員	嘉 喜 山 茂
委員	池 田 栄 次	委員	吉 田 茂 生

欠席委員

なし

出席委員外議員

議 長 佐々木史仁

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	本 多 幸 雄	主幹	小 松 一 恵
係長	山 口 昌		

本日の委員会に付した案件

- 「議会だよりの発行準備に関する調査研究」
- (1) 議員研修について
 - (2) スケジュールについて
 - (3) その他

開 会 10時00分
閉 会 11時45分

○**少林副委員長** 先ほどの産業厚生から連続の方もいらっしゃいますが、それでは、今から議会だより発行準備特別委員会を始めたいと思います。それでは、委員長、よろしくお願ひします。

○**金繁委員長** お忙しい中、全員お集まりいただきまして、ありがとうございます。早速ですが、議会だより発行準備特別委員会を始めたいと思います。よろしくお願ひします。

今日は、先日、早稲田大学マニフェスト研究所の中村健事務局長に研修をしていただいて、その内容を含み、皆さんからの御意見を頂いて、これまで決めてきたことについて変更するかどうかということと、今後のスケジュール、先生からも、お尻を決めてスケジュールを早くと言われましたので、スケジュールについて話し合えたらと思います。よろしくお願ひします。

では、早速なんですけれども、議員研修について、中村先生のお話の中から皆さん感じ取られたこといろいろあると思うんですが、先生のお話を受けて、こういうふうに変えたほうがいいんじゃないかとかありましたら、何でもよろしいのでお願ひします。

尾崎委員、お願ひします。

○**尾崎委員** この前の研修を受けて、一番の印象に残ったというか、冒頭の話で、この議会広報の作る目的というのは、その地域住民の方に議会に関して興味を持ってもらう、これが作る大きな目的になるのではないかなというのが、非常に印象に残りました。

我々の作った第一の試作品を見て、講師の方のまたコメント頂いたんですけれども、その中では、今回はサンパル跡地の利活用について議員個々の考えを述べている、この点については、うん、いいですねというお言葉を頂いたのかなと思います。一つのテーマについて議員個々の考えを議会だよりを通して町民の方に知らせるといのはいいことなのかなと思いました。

それと、一般質問についても、それぞれが同じようなものがこう散見されるので、政策ごとにまとめて示すほうが分かりやすいのではないのでしょうかというような助言を頂いたような気がするんですけれども、これについてはなんですか、鷹栖町議会ですかね、その一般質問について、やっぱ類似したものにまとめて、だよりに出してありますという話があったんですけれども、これもちょっと考える必要あるのかなと思っております。

それと、その鷹栖町議会の話がちらっと出ましたが、あそこは議会だよりについては予告編の形で、来るいついつに定例会がありますのでどうぞ来てくださいますとか、そういう感じのことで先にこう案内版で出してくるというようなところが非常に印象に残ったんですけれども、いきなり鷹栖町方式っていうのもなかなか我々にとっては難しいのかなと思うんですけれども、いずれにしても、要点のみを紙ベースで記述をして詳細はQRコードにする形というのは、やっぱり今後考えていくべきではないかなと、今回の研修を受けて感じております。

○**金繁委員長** はい、ありがとうございます。そうですね、はい。何点が御指摘いただきました。町民に興味を持ってもらうということで、まとめ方について、一つは、テーマごとにまとめるのと、サンパルのことは良かったのではないかと。

それから、一般質問についても、政策テーマごとにね、スーパーのチラシを見せてくださりながら、お肉は肉、野菜は野菜と、こんなにしたほうが分かりやすいですよと、読みやすいというお話だったかと思います。

でね、ぜひ予告編もチャレンジしてみたいところですが、確かに急にそれを始めるというのも難しいかもしれませんね。はい。要点のみ紙ベース、ほかはQRコードということは私も本当に痛感しました。

皆さん、他に御意見いかがでしょうか。こういう点も取り入れるべきではないか。ありましたらお願ひします。嘉喜山委員、いかがでしょうか。

○**嘉喜山委員** やはり過去のことについてはもう触れなくていいのかなと思います。過去のことというと、結局、今回、試作版でも3月議会のことを取り上げたわけなんやけど、それはもう広報のほうに任せて、次の議会とかサンパル跡地の問題とか、そういったテーマに絞り込んでいくということでやるべきかなと。鷹栖町議会のように、もう要約のみということが望ましい

方向なんじゃないかなと思いました。以上です。

○金繁委員長 はい、ありがとうございます。池田委員お願いします。

○池田委員 今回の嘉喜山委員の意見に賛成なんですけど、せっかく部数も含めて要領も決めとるんですけど、やっぱりもう、鷹栖町議会のこれはチラシなんですけど、もうこれだけかと思ったら、何ページかに及ぶ議会だよりが別にあるっていうことやったんですけど、今このチラシ形式で、次の議会の予告、一般質問する方ならする方の内容っていうか、一番大きい題目ですよ、それと、1枚ものを、表をそれにして、裏を一般質問、前回か定例会の一般質問、それも質問者と大きい項目ですよ。この間、前回の編集で出た、赤字で書いたところ、それにバーコード貼り付けとって、で、それと、サンパール跡地のような、ちょっと人数にもよるんやろうけど、そういうのをに入れていく。当初はそれで出発して、ちょっと今までの議論蒸し返して悪いんやけど、それで出発して、それから町民の方の声を聞いて、これでは物足りんぞとか、例えばインターネットを利用できん人が内容が分からんやないかとかいう話が出たときに、出たらそれから肉付けしていくとか、そういう方法を取ったほうがいいんじゃないかと。

例えば、この間、前の号で一般質問などを、内容をずっとしましたよね。文章の中で、単純明快な質問であれば短い文章で全てを表せられるんやけど、ちょっと複雑とか、ちょっとこう、いろいろな問題、いろいろな点があったときに、やっぱりせっかくインターネットで録画中継もしよるんで、それを直接見てもらったほうが、あとは見た方の判断、事実がそのまま伝わってっていうので、その記事を作るときの手間といいますか、要約していくときのこと考えたら、当初はそれのほうがいいんじゃないかという感想です。

○金繁委員長 今、池田委員から頂いたアイデアなんですけど、じゃあ、2つ、チラシ形式のその予告編も作りたいということですよ。

はい。

○池田委員 予告編をもう議会だよりにするんですよ、1枚を。予告編が表、裏が定例会の一般質問の内容ということで、1枚もんで。予告編と、本編いいますか、それをやってしまう。その中で、その定例会で行った一般質問の内容も、もう簡単に、赤字何々について、あとはバーコード貼り付けとったら、あとは見てもろたら、直接そのものが主張した人に伝わるんで。ということですよ。

○金繁委員長 分かりました。一体化して1枚で裏表。

吉田委員。

○吉田委員 この前ちょっと中村先生が言っていた、広報あいなんと我々議会だよりとの関係性っていうんですかね。議会だよりを出すんだったら広報あいなんには出さないのか、もしくは広報あいなんに、例えば告知ですよ、今回、議会がこうこうでありますよという告知を広報あいなんにしてもらって、可否について採決したのものについては、そこで全部載せてもらって、それ以外の部分で議会だよりで出すのかどうか。その辺について、やっぱりちょっと区別をしていかなきゃまずいのかなってというのが、前回、中村先生との指摘の中でありました。いきなり、もうまだ議会だよりも発行していないのに、いきなり広告のような形で出すのはちょっと時期尚早なのかなと。何回か出してみても、これじゃ駄目だよって意見があったときに、こう随時改正をしていくという形でちょっとしていけないと、プロではないんで、その辺で進化させていくっていうか、改訂していくのが一番ベストではないかなというふうに思います。取りあえず、まあまあここまで来ているんですから、スタートして、日を決めて、それから発行をどうやっていくかというふうなところで議論していくべきじゃないかなというふうに私は思いました。以上です。

○金繁委員長 ありがとうございます。

少林副委員長。

○少林副委員長 この間、中村氏のしていただいた。あまりにも違いすぎて、みんなすごい衝撃を

あれは受けた。うちのと比べたらインパクトっていうのは随分違ったと思います。目的を、興味を持ってもらってぜひ見てもらおうというのだったら、やっぱりああいう形にして短く取り込んでいくのが大事なかなと思いますので、ゆくゆくは本当に池田委員のおっしゃるような形がいいのかもしれないなというふうに思います。

ただ、あれすると、議会の前にそれして、議会のあとこうでしたっていうのは、もうなしになるのかなと思う。それもせんといけんになると、両方すると、なんかすごく忙しくなるのかな。そうなると、今度、女性の声を聞こうとか、町民の声をこういう形で聞こうとかいう議会報告会に代わるようなものがあったりしたら、それも入ってきて、ちょっとなかなか收拾がつかないなというふうに思います。

○金繁委員長 ありがとうございます。皆さんの御意見を集約すると、できるだけテーマごとにまとめられたらいいんじゃないかということ、それから、QRコードを活用して文章はできるだけ要点にという御意見が多かったかと思えます。

ページ数についてなんですけど、池田委員のほうからは、もうチラシ1枚、表裏でという意見と、ここが分かれたんですけど、最初は8ページ、これまで話してきた内容で出して、その慣れてきた頃にまたチラシという形も考えたらいいんじゃないかという意見は分かれたと思うんですけども。どうですかね、皆さん。テーマごとにできるだけ編集しようという方向性はよろしいですか。

はい。そしてQRコードを活用してできるだけ要点を集約すると。

ページ数どうしますかね。尾崎委員と嘉喜山委員、ページ数について触れられてなかったかと思うんですけど、これってチラシっておっしゃいましたっけ、失礼しました。

吉田委員。

○吉田委員 今回は、作ったその議会だよりについては、一般質問とそれからサンパール跡地の活用ということでお題目を決めてやったんで、多分、活性化でも言ったように、これからこの車座会議等々で年に4回ぐらいはこれしていくと思うんですね。それについては、誰もその議会を見ていないわけですから、そういう記事が多分多くなってくると思うんです。2回目以降です。だから随時こう議会だよりは変わってくるんで、枚数、ページ数はそのままにしておいて、内容をどんどんどんどん変えていくと。

多分、一般質問はさっき言ったようにQRコードでいいし、同じような質問であればまとめてすればいいし、その分余った部分で、車座会議で話し合ったこと、それから、これはもう随時いろんな形に進化していくわけですから、そこもまだ具体的に回っていないんで、今後は変わってくると思うんで、ページ数については今の現行のままで、とりあえず最初は一般質問がメインになってくると思うんですけども、随時こう変わっていくと。次回は車座会議の内容について、こうこうでこうのをしますということで計画的にやっていくんでしょうから、それともリンクさせながら議会だよりを発行していくという形で、私としては一応考えてはいたんですけども、そういう形でいけば今のページ数は必要じゃないかなと思うんです。以上です。

○金繁委員長 尾崎委員いかがでしょう。

○尾崎委員 要領案では、8ページ以内ってなっているので、極論したら1ページでも2ページでもその範疇に入るんで、その辺は8ページ以内に残しておいてもいいかなと思います。

○金繁委員長 分かりました。では、どちらが多数というわけでもないのですが、どういたしましょうかね。

8ページ以内ということで残しておいて、これは実際に作る委員会のほうで話し合っ決めていくということにしておきますかね。はい。

じゃあ、ページ数の規定としてはこのままでということ。はい。確かに、最初はね、こう出すことになりましたとか、いろんなお知らせとかもあるかと思うので、裏表だけは厳しいか

もしれませんが、できるだけ鷹栖町でしたっけ、のよにね、町民の関心を高めるような内容にコンパクトにできたらなと私も思います。

では、その方向性を記録していただいて、この研修については何かないですかね。事務局のほうからは。大丈夫ですか。はい。

それでは、スケジュールなんですけれども、研修の中で中村先生が議員全員に作るということとは間違いありませんよと確認していただいて、それはもうしっかりと合意が取れましたので、間違いなく出すことはできるんですが、補正予算を組まないといけないということ、いつから出すかということをお話し合えたらと思います。もう7月なのですが、9月議会の内容をその後出すことは、広報作ることではできなくはないと思うんですけれども、ただ、レイアウトの業者さんを決めるための日程、手続を考えると若干厳しいのかなという気はしています。

事務局お願いします。

○**本多事務局長** 今のスケジュールの関係で、事務局のほうで最短で例えば9月定例議会に補正予算を計上したとした場合なんですけれども、それが大体9月の半ばぐらいに9月定例が終わって、その後その業者をどういった選定をするのかって辺りとかで、実際入札の作業で、今の話でしたら、おそらく編集内容についても、もう一度検討する必要もありますし、もしかしたら例えば条例を改正して常任委員会にするのかとか、そういった部分も絡んでまいります。

で、業者選定が終わったとして、まだそういった編集内容とか業者との打合せ等を考えておりましたら、おそらくは、9月定例議会の内容で第1号を出すのはちょっと現実的ではないんじゃないかというふうに思っております。最低でも12月定例議会の内容になるのかなというふうにはちょっと考えております。以上です。

○**金繁委員長** ありがとうございます。ということですが、どうでしょうか。皆さん、御意見。はい。吉田委員。

○**吉田委員** 今の12月からのスタートで、前もってこう来ていたんじゃないかなかったです。決まっていなかったんです。いや、僕は12月ぐらいかなっていう形で回ってきたような気がするんですけど、そうではなかった確認は取れてないんですかね。

○**金繁委員長** 9月からという意見もあったかと思いますが。確定はしなかったですよ。9月にしたいですか。

○**吉田委員** いやいや、前もってだから12月からっていうことで進んでいたんじゃないですかって。9月じゃなくてでしょ。それはなかったですかね。はい、確認だけです。

○**金繁委員長** 尾崎委員。

○**尾崎委員** 今の、事務局長からのいろんな事務的な手続とか話聞いたら、やっぱり十分に時間を取って段階的にやらんといけんで、12月議会の内容で、予告編で出すか結果で出すかは分かりませんが、12月以降をポイントにして進めるのがいいかなと感じております。

○**金繁委員長** 嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** やはり、先ほどの準備期間と、その選挙調整も考えると、僕は来年度の4月以降からしないちょっと難しいんじゃないかなと思います。以上です。

ということで、6月以降の発行ということになるのかなと思います。

○**金繁委員長** 池田委員、どうでしょう。

○**池田委員** 時期的には嘉喜山委員の意見に賛成です。やっぱり、じっくりとやっつけていけばいいんじゃないかと思います。

○**金繁委員長** 来年の6月というね、意見が出ました。じっくりというのもあるんですけど、ここでこれだけ研修を受けてきて、話し合っ決めてきたことをこのメンバーである程度形にしておかないと、またこれメンバーが変わる可能性がありますので、そういう人たちに最初からまたよろしくねっていうのは厳しいような気はするんですけれども、どうですかね。

少林副委員長。

○**少林副委員長** 時期的に見ていろいろなこと考えたらそのとおりだと思います。

○**金繁委員長** どっち。どっち。6月、12月。

○**少林副委員長** 12月になる。

○**金繁委員長** 尾崎委員。

○**尾崎委員** 時間かけたらいいものができる、必ずしもそうでもないですし、特にそのメンバーが変わればまた振り出しに戻ることもあるので、やはり12月、遅くても最低3月の議会を捉えたもので出すべきではないかなと、私は思います。

○**金繁委員長** 選挙で議員が忙しくなるからという理由もあるかとは思いますが、それは3月議会の結果を議会だよりで出すというのが厳しいということかと思うんですが、おそらくそれは4月の選挙の後、新しい議員の紹介なり新しい議会だよりを4月に作ればいいのかという気はしますけれども、どうでしょうか。

嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** そのとおりで、そういう考え方もあると思います。

中身については今後その都度考えていくっていう方針だと思うんで、それはそれでいいと思います。

○**金繁委員長** 12月議会の報告自体を一回作っておくっていうのはどうですか。

嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** 元々、結果は今までどおり広報でいいと自分は思っているんで。その未来志向で今後のことだけ載せるのであれば、それも致し方がないかなとは思いますが、先ほど言った来年度からっていうのが基本的な線です。

○**金繁委員長** 時期について、まだおっしゃっていない方。

吉田委員。

(発言する者あり)

○**金繁委員長** 12月でよろしいですか。はい。では、意見が割れましたが、12月の方3名と、6月、来年という方が2名ですので、多数決というか、でよろしいですか。ここの合意として、じゃ、12月発行を最終のスケジュールのお尻として進めていきましょう。

吉田委員。

○**吉田委員** 12月発行じゃない、12月の議会からなので何月、2月、1月、3月、3月の発行ということで。

○**金繁委員長** スケジュールなんですけど、では、12月を目指してやるべきことなんですけど、委員会の立ち上げ、予算あるかと思いますが、事務局のほうから何かありますか。お願いします。

本多事務局長。

○**本多事務局長** まず、予算の関係になりましたら、印刷費用が必要になります。そして、前回の話合いの中で、レイアウト等については業者に全て委託するという事だったと思うので、業者選定に関しては、その部分を重視した業者選定をする必要があるのかなと思っております。先ほど言いましたように、9月の中頃に補正予算が成立しますので、そういった作業について、その後から実施するという事になります。

あと、もう一点なんですけども、これも以前から話題に出ていたことではあるんですが、編集委員会について、例えば、9月の定例議会の中で、この準備特別委員会の結果を報告して、一度解散して、条例を改正して、新たに常任委員会を設置するのか、もしくはもう一点の方法として、条例改正すると、何ていいますか、条例を改正するという方法以外にも、例えば、また特別委員会を設置するという方法もあります。

そういった方法についても、検討する必要があるのかなとは思っております。業者選定が終わった後に、実際の選定した業者との打合せ等ですね、そういった部分も必要なのかなと思っております。以上です。

○金繁委員長 ありがとうございます。委員会の立ち上げをまずしないといけないですよね。予算を作るにも同時にやってもいいかとは思いますが。予算が先ですか。別にどっちでもいいですか。同時でもいいですか。

(発言する者あり)

○金繁委員長 分かりました。どちらでもいいですか。

吉田委員。

○吉田委員 確認なんですけど、これをこのまま、その試作まではこのまま委員会を行くってというのはできないんですかね。一回閉めなきゃまずいんですか。

○金繁委員長 本多事務局長。

○本多事務局長 この特別委員会の目的なんですけども、議会だよりの編集準備ということですので、実際の作業に入るとなると、もうこの委員会の目的を外れているのかなと思っております。以上です。

○金繁委員長 先ほど局長おっしゃいましたその常任委員会の条例改正もしくは特別委員会、2つの選択肢があるということなんですけど、それぞれのメリット・デメリットってどんなこと、何が違うんですかね。お願いします。

本多事務局長。

○本多事務局長 新しく常任委員会を設置する場合でしたら、愛南町の議会の委員会条例を改正する必要があります。なので、その9月定例議会なりで、そういった条例改正案を提出するということになります。特別委員会の場合でしたら、新たに決議を上げて特別委員会を設置するということになります。

具体的な例としましては、愛媛県内では久万高原町が、特別委員会で行ってございまして、特に委員会条例の改正はしていないというふうな情報は得ております。以上です。

○金繁委員長 分かりました。久万高原町以外は皆さん常任委員会にされていますかね。私は常任委員会しか聞いたことがないんですけど。

本多事務局長。

○本多事務局長 常任委員会を設置しているところありますし、また、別に常任委員会を設置せずに編集委員会ということで行っているところもあるというふうには聞いております。以上です。

○金繁委員長 編集委員会。すいません、吉田委員どうぞ。

○吉田委員 来年4月に改選がありますので、そこまでは別に特別委員会でいけばいいんじゃないかなと。そのあと、4月以降ですかね、改選された後に常任委員会に持っていくっていう形が一番スムーズではないかなというふうに私は思いますけど。

○金繁委員長 そうですね。確かに私もそのように思いますが、それで何か問題ありますか。

本多事務局長、お願いします。

○本多事務局長 4月以降に常任委員会を設置するというのであれば、3月定例議会のときに、常任委員会を設置するための委員会条例の改正案を提出する必要があるのかなと思っております。以上です。

○金繁委員長 3月に出しておかないと。そうですね。ただ、その常任委員会ができるのが、4月の改選後に常任委員会を作ろうと思ったら、6月議会で常任委員会を立ち上げるってことになりますよね。それではなくて、もうすぐにその4月号とか5月号を出すためには、特別委員会、初号だけ特別委員会でいって、6月議会に常任委員会の条例改正ということも可能ではないんですか。

本多事務局長。

○本多事務局長 休憩をお願いします。

○金繁委員長 休憩入ります。

(休憩)

○金繁委員長 引き続きまして、委員会を再開します。

では、スケジュールについてなんですけれども、先ほどの議論では、12月議会から出そうという話だったんですけれども、特別委員会にするか常任委員会にするか条例改正かという話と絡んで、今期のうちにはその常任委員会、条例改正なり特別委員会作るかというところをきっちりとつくっておいて、4月の選挙以降、来期のメンバーで、その条例なり特別委員会に基づいてスタートできるようにしてもいいんじゃないかという意見が出てきました。どうでしょうか。もう一回ここについて少し議論できたらと思うんですけれども。

先ほど嘉喜山委員、池田委員は元々そういう意見でしたよね。で、ほかの3名の方はいかがですか。

尾崎委員。

○尾崎委員 私もできるだけ早いほうがいいんじゃないかというような話でありましたけど、今話聞いた中ではいろいろやっぱり不都合等があるようなので、しっかり準備ができて、段階を経てやるのがいいかなと思うので、来期でも構いません。

○金繁委員長 分かりました。吉田委員はいかがですか。

○吉田委員 これ、12月の議会からもし出すにしても、試作っていうか、正式な形ではないですよ。第1号、第2号については試作ということではないですかね。正式には、常任委員会を設置してから正式な形で出すっていう形ですよ。それでしたら、別に12月から私は出していただいてもいいのかなと。12月の議会分からです。3月1日からで、3月号からでもいいんじゃないかなというふうには思うんですけど。

○金繁委員長 意見は変わらずですね。はい。池田委員。

○池田委員 12月に出すのに……。

(発言する者あり)

○池田委員 3月から……。

(発言する者あり)

○池田委員 分かりました。

○金繁委員長 いいですか。はい。少林副委員長はどうですか。

○少林副委員長 そうなっちゃうんですかね。長いですね。

○金繁委員長 どういたしましょうか。困ったな。

吉田委員。

○吉田委員 ずっとこれ準備委員会に来ていたのは、その方向で来ていたんじゃないんですかね。

今さらまたこれを6月いうたら、もう全然もう、この前のじゃあ試作は何だったのっていうことになるんで、せっかくこうやってスタートしてもオーケーですよということですから。12月の定例を3月に出して、これは特別委員会で発行する。それから、3月の定例については、6月ですかね、これも要するに準備委員会ですと。

正式には6月の定例から、9月からですよ。9月発行分からは常任委員会で正式に出すっていう形で流れを作っていくないと、これ、6月の議会の分を9月に出すってことですよ。もう1年先ってことですよ。そんなだらだらだらしてたら状況も変わってくるでしょうし、全然意味がない。今までの、じゃあ時間を返してくださいってことになるんで、そこはちょっとしっかりと、前向きにするんであればやってもらいたいなど。この前試作作ったのじゃあ、あれも別に作る必要もなかったでしょう。だから、12月でそういうふうなスタートで僕はいつに思っていたんで、今さらいつにどうのこうのって、今日の議論は全然、全く私には理解できません。

○金繁委員長 ありがとうございます。池田委員。

○池田委員 いや、試作作ったのは意味がないことはないじゃない。意味あったやないですか。それでいろいろ問題出てきて、一般質問に対しても、一般質問なりしましたけど、ちょっと言え

ないところもあるんやけど、いろいろあるんで。そういうのを経験しながら、そしたら質問は大項目でいって、全体はバーコードでやっとならばそのまま伝わるんで、途中にいろんな手が加わっていくと、その双方の意図が確実に伝わらなくて、そうしたほうがいいんじゃないかっていう考えも出てくるし、それは試作が意味がなかったとは僕は思いません。

○金繁委員長 吉田委員。

○吉田委員 いや、試作が意味がなかったんじゃないんで、前回にする必要がないでしょうと。6月に出すんであればよ。だから、これは12月に出すっていう前提の中で、今まで流れてこうやって時間がターンテーブルに来ているわけですよ。で、まず最初に試作を作ろうと。そこからこうやって準備出して、12月の定例から基本的には予算ももらってきちんと出していきましょうねっていう形でできていたんじゃないんですかね。別に無駄なことじゃないですよ。それだったら試作なんていうのは12月の定例でやったらいいんで、そうじゃなかったでしょう、と思っていたんですけどね。

○金繁委員長 先ほど吉田委員が言われていた町民との意見交換会、議会報告会ありますよね。あれ、今年も秋にされるんですかね。年に1回はやらないといけない。

本多事務局長。

○本多事務局長 議会報告会の時期については、今ちょっと検討中なんですけども、というのが、今年秋に選挙があつたりするんで、その時期もちょっと考えながら検討中です。

○金繁委員長 今年内には、しますよね。

(発言する者あり)

○金繁委員長 そしたら、そのことも内容的には入れていくことができるのかなと。12月議会の後に議会だよりを作るのであれば、先ほど吉田委員がおっしゃったことなんですけど。

です。で、スケジュールとしてはいろいろ問題は確かにあったんですけども、私としても多数意見に賛成で、12月議会の後に一回やはりどんな形であれ出してみてもどうかと。そのテーマが、例えば町民との意見交換会とか、それと、そのQRコード、タイトルだけのその12月議会の報告なりでまとめることは可能ではないかなと思います。よろしいですか。

尾崎委員。

○尾崎委員 今おっしゃいましたその12月議会の内容っていうのは、試作品として作るっていうことが前提ですかね。

○金繁委員長 試作品というか、一応その町民に配るという前提。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 ということは、委員会の形態を変えるということになるんでしょうか。じゃなくて、かえっておかしいでしょ、今、準備……。

(発言する者あり)

○金繁委員長 吉田委員。

○吉田委員 いやいや、特別委員会でやるのか常任委員会を作ってやるのかっていうのは今議論している最中じゃん。それは特別委員会で取りあえずやって、条例変える必要ないんで、12月についてはそれでやっていきたいと思いますよ、補正も取って9月に出していきましょうって話でしょ。

○金繁委員長 嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 今は議会だより準備特別委員会なんで、今の形をそのまま踏襲するのはおかしいっていう話です。

(発言する者あり)

○金繁委員長 それは、吉田委員も同じ考えだと思います。この準備委員会が本番のというか、町民に配る議会だよりを作るのではなくて、この準備委員会はいったん解散して、新たに編集特別委員会なり常任委員会を作って発行しようということ、意見の違いはないと思います。

そのスケジュールですよね。特別委員会にするか常任委員会にするかなんですけれども、今期の間、その特別委員会、12月議会の後に第1回のもので作るのであれば、特別委員会という形のままでいいのか常任委員会にするかなんですけど。すいません、多数意見に従って12月に作るという前提で話しています。

局長、さっき手挙げられましたけど、よろしいですか。

本多事務局長。

○本多事務局長 一回ちょっと問題を整理したほうがいいのかなと思ひまして。ちょっと休憩構いませんか。

○金繁委員長 休憩に入ります。

(休憩)

○金繁委員長 休憩前に引き続き委員会を再開します。

スケジュールに関しては意見も割れたところもありますけど、全体としては、今年の12月の報告、議会だよりから始めてはどうかという意見が多かったので、その方向で話していただけたらと思います。で、内容として、12月議会のことだけではなくて、今年内に予定されている意見交換会の内容を編集してはどうかと思うんですけども、内容的にそれでどうでしょうか。異論ないですか。よろしいですか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 それいいかどうか。もう賛成か反対か。

(発言する者あり)

○金繁委員長 12月議会と意見交換会の内容で編集してみませんか、という提案です。

いかがでしょうか。賛成の方、挙手願います。

(挙手)

○金繁委員長 はい。じゃあ、12月議会の後に第1号を作成するというので、全協に諮りたいと思います。で、それに必要な委員会なんですけれども、特別委員会にするか常任委員会にするか、この点についてはいかがでしょうか。

メリット・デメリットというか違いももう事務局のほうから説明していただいたので、これも挙手で決めてもよろしいですか。はい。そしたら、特別委員会で当面、今度の12月のものについては作っておき、来年度以降も特別委員会当面それでいいというのが第1案、2番目は、元々その常任委員会にしておくという案。もしくはその折衷案で、3番目としては、特別委員会としておくけれども、来年度からは常任委員会を作る方向で準備をして条例を作っておく。それが12月議会なり3月議会なり。この3つの案で。挙手願います。

1つ目、特別委員会ですとやっているので良いと。

(挙手)

○金繁委員長 はい。2名。2つ目、特別委員会から常任委員会に移行するという案。どうですか。

なし。じゃあ、最初からもう常任委員会で……。

(発言する者あり)

○金繁委員長 ごめんなさい、折衷案でしたね。ごめんなさい。2番目が、常任委員会で最初から立ち上げたいという方。

いらっしやらないですね。

じゃあ、3つ目の折衷案、当面は特別委員会、来年度から常任委員会の準備をしておく、条例を作ると。

(挙手)

○金繁委員長 という方が3名。ということで、委員会の形式としては、今年度は特別委員会をこの準備委員会は解散して編集委員会を立ち上げると。で、来年度以降の常任委員会の条例を作っておくということで決定しました。

今度の、じゃあ9月の報告なんですけれども、9月にするかどうかも含めですが、全協に今日の結果を踏らないといけないんですけれども、それにもよりますが、この委員会としてはどう進めるのが良いと思われるか。9月の議会でこの結果を報告できるように、全協の後、承認を得たら9月議会でこの準備委員会の報告をして一旦閉めると。で、特別委員会を立ち上げるということにするか、それとも12月の議会でそれを行うか。どちらが良いと思われませんか。

9月にも報告と解散立ち上げをしたほうが良いと思われる方。

いない。いないですか。じゃあ、12月議会で解散と立ち上げをしますか。そこで予算も一気に全部出しますか。

(発言する者あり)

○金繁委員長 予算は9月。失礼しました。予算は9月に出すと。報告も、じゃ、報告は12月ですか。難しいですかね。

本多事務局長。

○本多事務局長 どちらでも可能です。

○金繁委員長 補正予算のほうは9月に出すとして、出すということで、この報告をどうするかで、この特別委員会の解散と立ち上げを9月にするのかどうかですね、いかがでしょうか。9月にするか12月にするか、皆さんどうされますか。取材的には9月に立ち上げておいたほうが編集作業はスムーズかとは思いますが、時期尚早だという御意見もあるかとは思いますが。

12月議会から作る場合に、それ以前の事柄について文章を作るということを考えたときに、メンバーが決まっていなくて、自分の頭で考えて記録して作り上げるということが12月以前に考えられないと思うので、難しくなってくるかなという気はするんですけれども、いかがでしょうか。

12月以降でも不可能ではないとはもちろんないんですけど、ちょっと順番に、じゃあお聞きします。尾崎委員どうですかね。

○尾崎委員 12月。

○金繁委員長 嘉喜山委員どうですか。

○嘉喜山委員 予算は9月で当然やけど、ちょっと無理があるかなという気はします。で、報告は12月でいいと思います。

○金繁委員長 はい。12月ですね。

池田委員。

○池田委員 報告は12月で、予算は9月で取っとかんと。

○金繁委員長 吉田委員お願いします。

○吉田委員 すいません。逆に、準備特別委員会については12月まで継続でいくんですか。

○金繁委員長 になりますよね。

○吉田委員 補正については9月の定例で出させていただいて、報告は、じゃあ12月の議会でしたほうが多分ベストではないかなというふうに思います。

○金繁委員長 少林副委員長はどうですか。

○少林副委員長 さっきのやけど、そしたら12月まではこの委員会継続になるわけですよ。それで、12月のあれですが、それだったらもう一段階やっぱ早いほうがいいのかというふうに、私は9月かなと思いますが。

○金繁委員長 実際その予算はつけたものの、9月でね、12月までの間、じゃあ業者さんを選んだりとかいうことが、もう本来その編集作業に伴うことを準備委員会の中で話すことができるかどうかということが一番心配なんですけど、それは可能なんですかね。

本多事務局長。

○本多事務局長 正式に編集作業をするということではないかもしれませんが、実際、議会報告会については、先ほど言ったように議員全員参加したりしますので、その中で記録にとどめ

て文章を作成しておくということ自体は特に問題はないのかなとは思っています。

○金繁委員長 業者の選定とかも。

○本多事務局長 業者の選定については、もう明らかに準備特別委員会でも可能かなと思っています。

○金繁委員長 分かりました。問題はないそうですが、はい、問題ないということで、で、12月の意見の方が多かったので、12月議会で報告と、この委員会の解散及び新しい編集会議の立ち上げということになりました。では、この結果を全員協議会に諮りたいと思います。いつ頃全員協議会ありますか。

本多事務局長、お願いします。

○本多事務局長 全員協議会の日程についてはまだ決定はしていないんですけども、9月定例議会の、前段階の全協、8月の終わりのほうには開く機会があるので、そういった中で報告できるのかなと思っています。

あと一点、事務局のほうからなんですけども、今回の報告以外に、おそらく予算的なものについても報告したほうがいいんじゃないかと思っております。で、今現在で見積りが取れるのが、どうしても入札参加資格のある印刷業者になりますので、その数社にちょっと見積り依頼をさせていただいて、先ほど言ったように、最低編集委員会の3回は来ていただいて、いろんな意見を聞いて持ち帰っていただくというようなことを前提に見積りを取らせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

○金繁委員長 よろしいですか。吉田委員。

○吉田委員 広報は何回ぐらい来てもらっているんですか。3回くらいですか。

○金繁委員長 休憩に入ります。お願いします。

(休憩)

○金繁委員長 では、休憩前に引き続き、会議を再開します。

9月議会の前の全員協議会で、今日話し合った内容を諮って、9月議会に補正予算を提出するという事を諮りたいと思います。で、報告のほうは12月ということで、その間にもこの準備委員会として、議会だより発行の必要な準備はしても問題ないということなので、業者選定等進めていきたいと思えます。

ということでよろしいですかね。ほかに話しておくべきことは。

本多事務局長、お願いします。

○本多事務局長 先ほど説明させていただいた見積りの額のことについてなんですけども、8月末まで、8月末に予定している全協までちょっと時間があるんですが、別途タブレット等でお知らせするという事でよろしいでしょうか。

○金繁委員長 よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○金繁委員長 はい、お願いします。

その他、何かございませんでしょうか。はい。ないようですので、本日の会議はこれで終わりにいたします。お疲れさまでした。

議会だより発行準備特別委員会委員長